

情報モラル教育についての アンケート結果

デジタルアーツ株式会社
経営企画部 広報・コーポレートマーケティング課

調査対象： デジタルアーツの情報モラル教育学習資料を
ダウンロードした教育関係者

調査期間： 2016年1月25日(月)～2月11日(木)

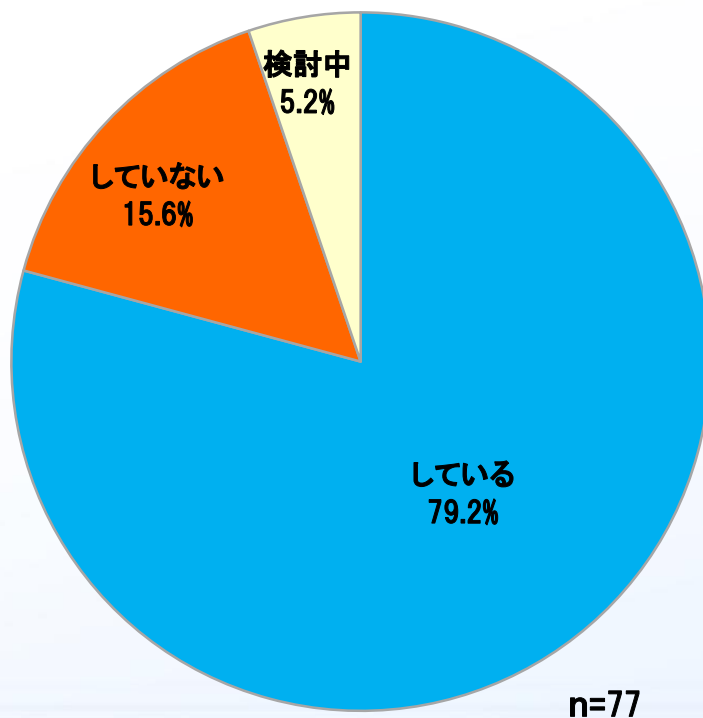
調査方法： インターネット調査

有効回答数： 77サンプル

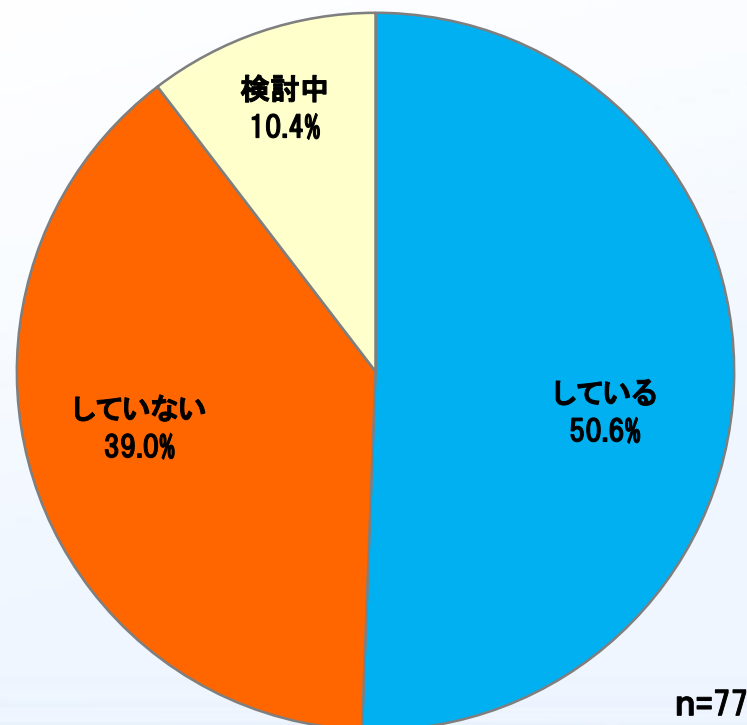
調査概要： 未成年者のスマートフォン・タブレットの利用が広がる中、
教育現場での情報モラル教育の実施状況と実際に
起きているトラブルと情報モラル教育の必要性に
対する認識を把握する為に実施。

■児童・生徒向けは79.2%、保護者向けは50.6%が実施している。

【児童・生徒向け】

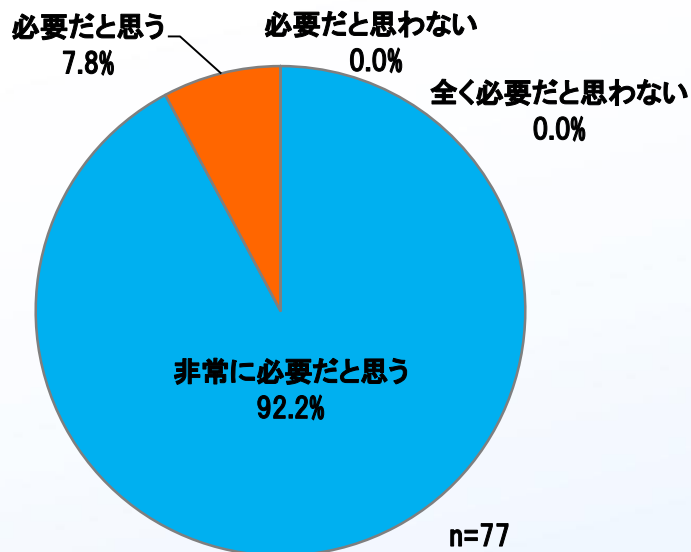


【保護者向け】

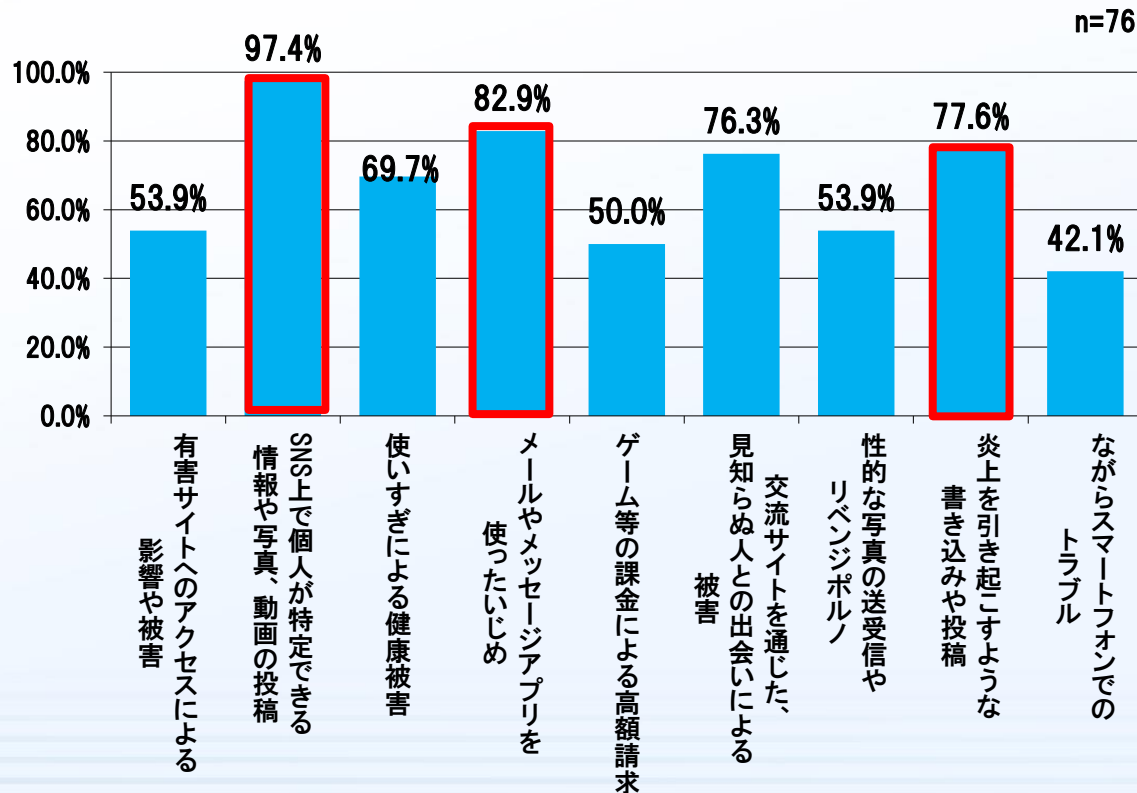


- 特に教育が必要だと思う危険は「SNSで個人が特定できる情報や写真、動画の投稿」97.4%、「メールやメッセージアプリを使いたいじめ」82.9%、「炎上を引き起こすような書き込みや投稿」77.6%。

【情報モラル教育の必要性】

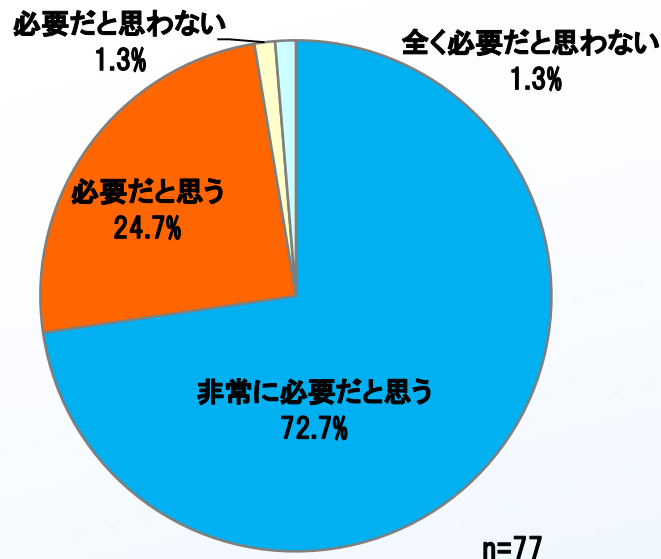


【特に教育が必要だと思う危険】 複数回答

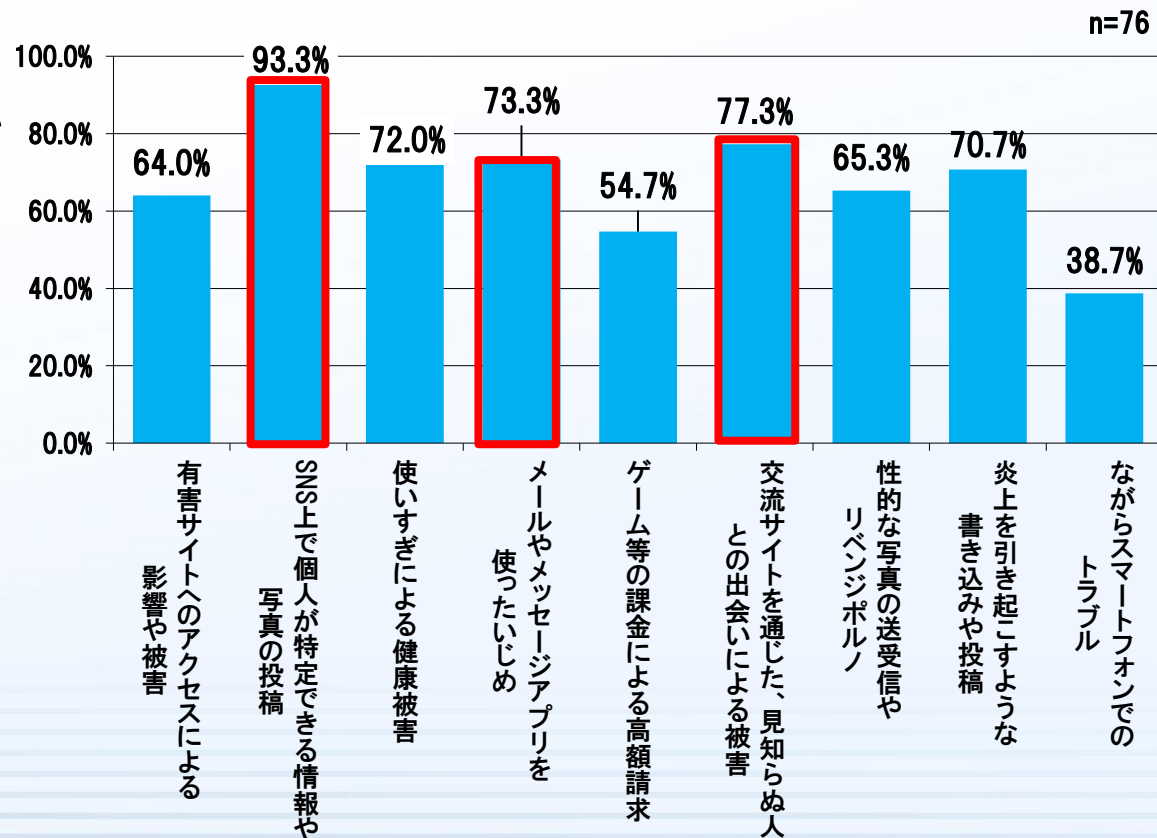


- 特に教育が必要だと思う危険は「SNSで個人が特定できる情報や写真、動画の投稿」93.3%、「交流サイトを通じた、見知らぬ人との出会いによる被害」77.3%、「メールやメッセージアプリを使いたいじめ」73.3%。

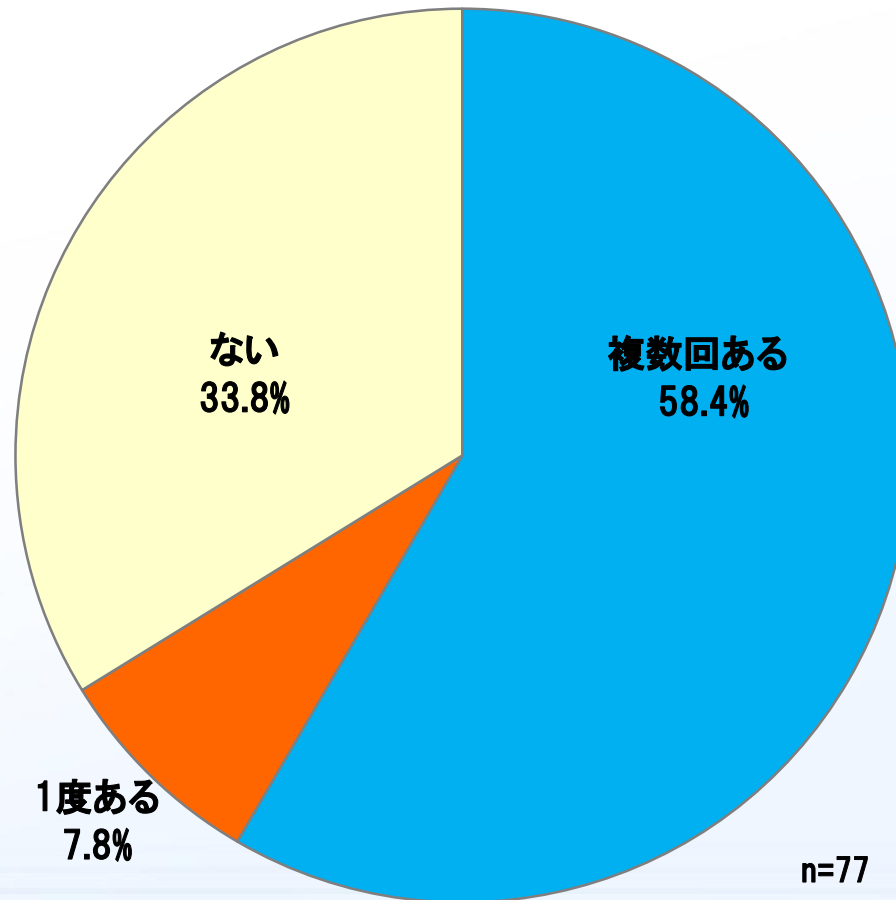
【保護者への 情報モラル教育の必要性】



【保護者に対して特に教育が必要だと思う危険】 複数回答



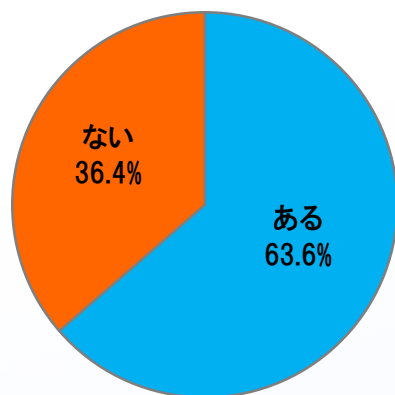
- 「複数回ある」が58.4%、「一度ある」が7.8%。
- 66.2%が保護者から児童・生徒のインターネット・スマートフォンの利用について相談を受けた経験がある。



児童・生徒がトラブルに遭遇した経験

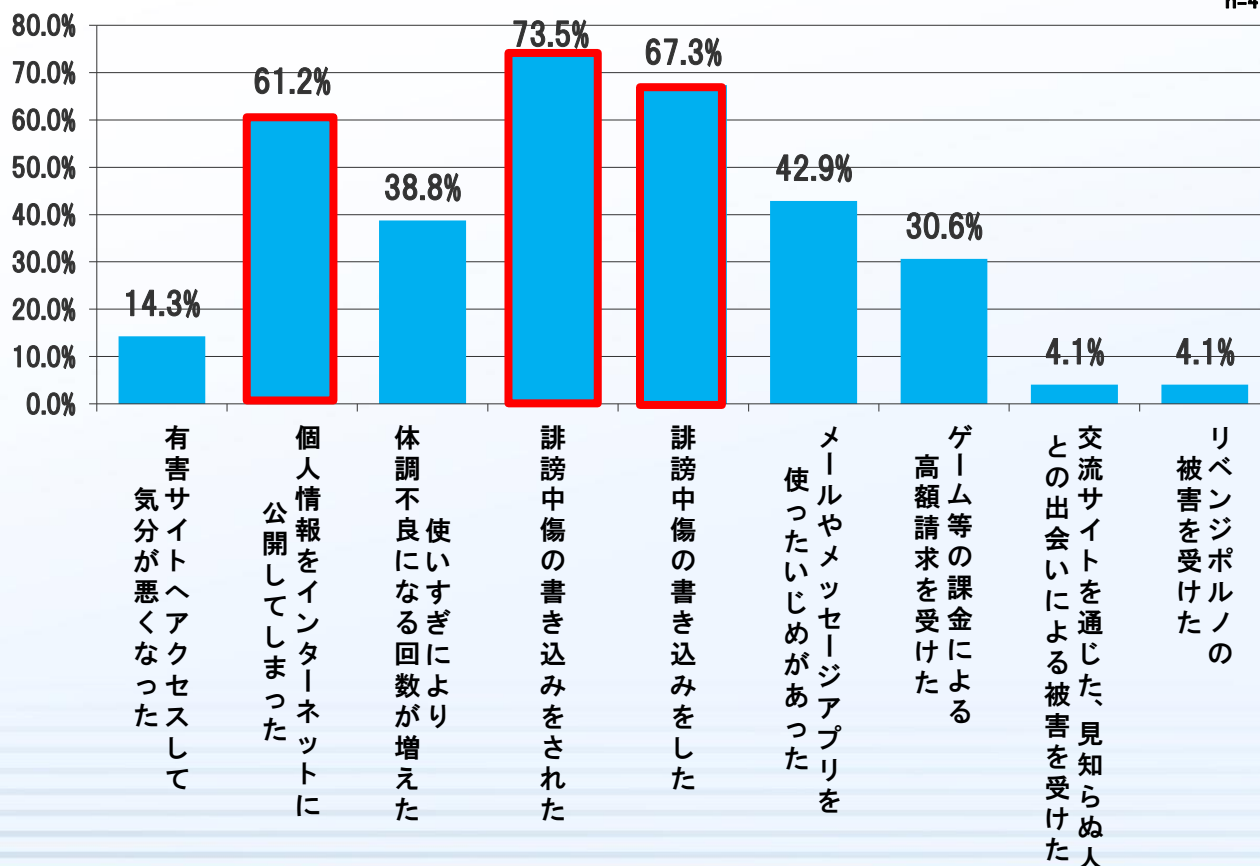
- 児童・生徒がトラブルに巻き込まれた経験があるのは63.6%。
- 「誹謗中傷の書き込みをされた」73.5%、「誹謗中傷の書き込みをした」67.3%、「個人情報インターネットに公開してしまった」61.2%。

【経験の有無】



【トラブルの詳細】

児童・生徒がトラブルに遭遇したことのある人ベース
複数回答
n=49



- トラブル後の指導として最も多かったのは「該当の児童・生徒だけでなくクラス、学校全体での注意喚起や情報モラルについての指導を行った」50.0%。

児童・生徒が
トラブルに遭遇した経験のある人
ベース

